

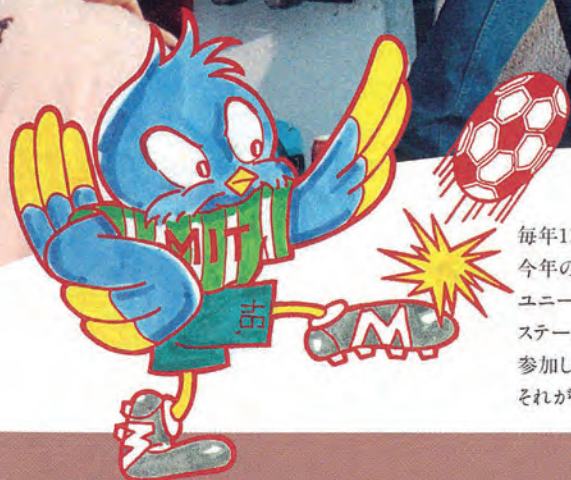
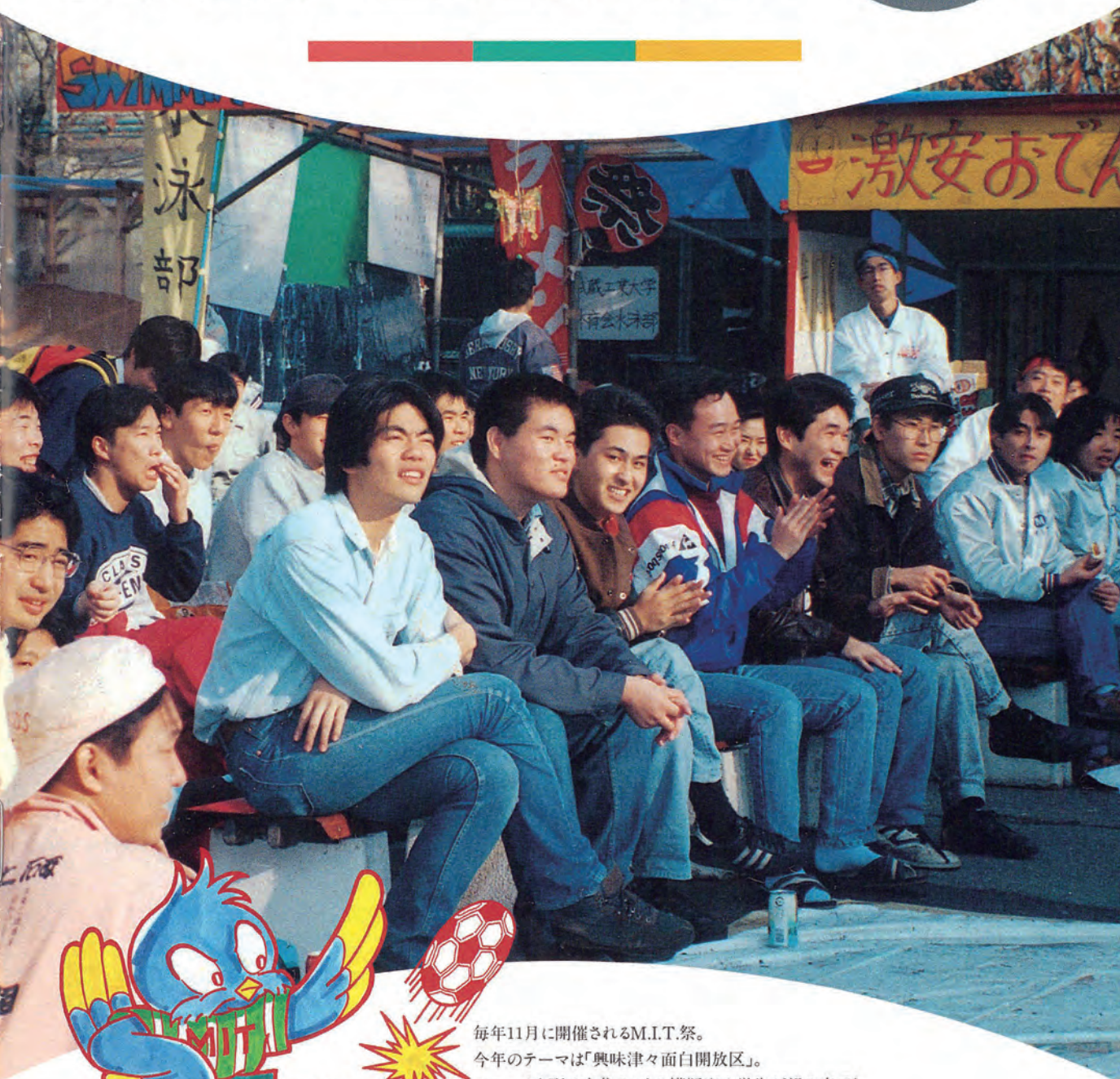
武蔵工業大学後援会誌

Mi-com

No.

11

1994-12



毎年11月に開催されるM.I.T.祭。

今年のテーマは「興味津々面白開放区」。

ユニークな形の自作テントの模擬店や学生が組み立てた
ステージでの企画は、連日連夜の準備のためもの。

参加した人、訪れた人しかわからない、学生パワーを強く感じる——
それがM.I.T.祭です。

枠にとらわれない発想



武蔵工業大学後援会
副会長

相 場 俊 彦



最近、社会の評価軸は、ひとりの様な学歴・学閥・親の七光りの時代から、気配り重視・直感力重視の時代に変化しつつあり、枠にとらわれない発想の出来る人間を待ち望んでいる。

日本史の中で、その時代を疾風の如く駆け抜けた「時代の申し子」と言われた代表的人物に“織田信長と坂本龍馬”がいる。両者に共通している考え方は世界との交易という商人的な性格を有していたことである。農民は物ごとを「面」で考え、商人は「点と線」で考えると言われるが、信長の非凡な発想力は桶狭間で発揮された。龍馬も同時代の志士といわれる人達の中では特異な存在で「才谷屋」という商家の血を引く商人の精神が、その特異な資質を形成する上で、大きく影響したと言われている。その特異な資質が薩長同盟を成功させる要因であったことは間違いない。いずれにしても、その時代の枠にはまった人間の発想では、それらのことは成功しなかったであろう。

それでは枠にとらわれない人間を教育するにはどうしたら良いか、それは商人的精神を植え付けなければならないということである。商人的精神とは、直感力に富み、情報網を張りめぐらし、話しのヒントを聞いてパッと物事の本質をつかんでしまい、新しい物に敏感である、というのが商人的感覚に優れた人物ということになる。この様な商人的精神は、日常商売を通して、社会及び人間を見る習性を養うということで、サラリーマン家庭で育った人間と商家で育った人間では子供の頃から大きく異なってくる。

本当の人間の教育が始まるのは大学を卒業し、社会に出てから10年が、人間形成の期間であると言われている。しかしその前に、少しでも社会の要望に沿った感覚を身に付けておいた方が、よいのではないか。集団の中の、判断力・決断力・実行力・統率力・人間関係における協調性等の、能力を養う最後の機会が、課外活動の場であると私は考えている。

平成6年度 東京地区 「父母との連絡会」密着レポート



▲飯田後援会会長

◀午後1時より体育館で行われた全般説明

どんよりとした曇り空が広がった9月25日(日)、東京地区「父母との連絡会」が武蔵工業大学のキャンパス内で開催されました。年に一度の恒例行事として毎年たくさんのご父母の方々が参加するこの会も、後援会と大学の共催となって早や6年目。東京・神奈川・埼玉・千葉のご父母を中心に、遠方からも多数の方々に参加いただきました。ここでは、当日のスケジュールとともに参加されたご父母の感想と合わせて、ご子息がどのような環境で、またどのような指導の中で過ごしているかをお伝えしていきたいと思います。平成6年度「父母との連絡会」密着レポート、それでははじまり、はじまり…。

受付前から熱気ムンムン。

ご父母の思いが伝わってきます。

10時40分から体育館入口で学科別に受付開始。ぐずついた天気の子供の出足はぼちぼちといったところ…。息子さんの案内で受付前に来られる方、ご夫婦でキャンパス内を散策している方、キャンパスの写真を撮っている方、皆さん武蔵工大の雰囲気を感じとっているようでした。11時15分を回ると、いよいよ本日のスケジュールのスタート。午前中は1組約30人、15組に分かれて学内見学。1組につき1名の係員がつき、説明を受けながらの見学となりました。普段学生が接している施設を見えるということで、父母の方々も興味津々といったところでしょうか。

一生懸命学ぶ姿が浮かんでくる、学内巡り。

まずは、尾山台駅から徒歩で通学する学生たちの入口・通用門から見学が始まりました。次に休講や呼出しなど、学生のためのインフォメーションである掲示板、1号館・事務棟の前を通り、今年の春に出来たばかりの3号館・五島記念館へ。地下1階地上4階建ての建物の中には、電子通信工学科の研究室や教室、国際会議もできる会議室などを擁しており、明るい雰囲気がかもし出されていました。専門書を数多く揃え、地域住民にも開かれている図書館の前を通過し、各学科が共同で使える機器分析室、情報処理センターへ。誰もが希望すれば使用できるこの施設は、研究を続ける

通用門



「本学では裏門ではなく、通用門と呼んでおります。ハイ、学校ですから…」係員のジョークをまじえた説明で、気分は一気にリラックス。

掲示板



学生たちが1日1回は必ず見て行く掲示板。「お子さんの名前は、ありませんか？」——呼び出しは悪い事ばかりとは限りません。念のため。

五島記念館(3号館)



五島記念館1階中庭にて。右端は、五島慶太翁の胸像。



学生にとって、欠くことのできない施設だそうです。それから、講義が行われる7号館、8号館、そして10号館を経て武蔵工大の目玉でもある水素エネルギー研究センターへ。研究所の小柳さんからの説明はちょっと難しいものでしたが、液体水素をエネルギーとする水素自動車を実際に見たご父母たちからは、感嘆の声があがっていました。見学コースのラストは、学食。ここで、ボリュームたっぷりの中華丼に舌鼓を打ちながら、ご父母同志和やかなひとときを過ごされました。その間、五島記念館前の広場では、吹奏楽団と軽音楽団体のパチャラーセブンのガーデンコンサートが行われ、素敵な昼下がりを楽しんでいたようです。

ざっくばらんな学長のお話に、 おおいにリラックス。

13時からは体育館で古浜学長の挨拶、飯田後援会長の挨拶、井出就職連絡協議会議長による就職関係の説明などが行われました。学生の生活についてのアンケートを取り、できるかぎり学生の意見を取り入れた大学運営を行うということ。勉強だけでなく課外活動を奨励し、積極的な人間性を育てていること。武蔵工大は、まだ就職難ではないということなど、大学の



▲古浜学長



機械工学科1年
鷲崎文彦君
のお母様

勉強に集中できる環境 ですね。

緑が豊かで、閑静な住宅街の中に位置するキャンパス。けっして広いとは言えないけれど、キャンパス全体が綺麗に整っていて過ごしやすいイメージを受けました。できたてホヤホヤの五島記念館は素晴らしいですね。中庭も明るいし…。国際会議もできる会議室などもあるそうですが、学内見学の際に見せてくださるともっと良かったと思います。「百聞は一見にしかず」。どんな説明よりも実際にこの目で見た方が印象も強いですし、学校のイメージをより理解できたと思います。



電子通信学科3年
小川かおりさん
のご両親

大学が楽しくて 仕方ないみたい…。

女性の学生の割合は全体の1割くらいということですが、娘もその中の一人。入学してからというもの、とにかく大学が楽しくて仕方ないようで、一度もグチを聞いたことがないくらいです。女子弓道部の部長として、忙しい毎日を送っているようです。帰宅時間が10時頃と遅いのが心配ですが、学長先生がおっしゃるように、勉強だけでなく課外活動に思いきり取り組んで素晴らしい友人たちと切磋琢磨してほしいですね。武蔵工大はそれが出来る環境が、整っているので安心していきます。



士大工学科1年
菅原智成君
のお母様

緊張をほぐしてくれた係員 の方ありがとう。

たくさんの父兄同志で回る学内見学は、やはり初めのうちは皆さん緊張気味だったんです。でも、説明をしてくださった係員の方のウィットに富んだ話術のお陰か、校内を一回りする間にかなりリラックスできました。同じ年頃の子供を持つ親として、親近感が湧くせいか、お昼には皆さんと楽しい会話も弾みましたし…。大学のこともわかったし、自分にも良いひとときが過ごせてよかったと思います。

図書館



緑の木立の奥に佇む図書館はグリーン・キャンパスの象徴。数多くの専門書を有し、その蔵書冊数は約22万冊。

情報処理センター



今年8月、スーパーコンピュータFJ/JITSU VP2100をはじめ、新システムに更新された情報処理センター。

水素エネルギー研究センター



わが国で唯一の水素エネルギー研究センター。水素自動車の実用化に向けて、世界的な研究が行われています。

学生食堂



昼食メニューは中華丼。学生が普段食べているものと全く同じ内容のことも好評でした。

井出就職連絡協議会議長



▲昼休みに五島記念前で行われたガーデンコンサート

現状を具体例を交えながら話す古浜学長の言葉に、大学の堅苦しいイメージを払拭された方が多かったようです。この話を通して、個性重視の教育を目指している武蔵工大の本質を理解していただけたのではないのでしょうか。飯田後援会長からは、後援会の活動報告と会員の皆様の意見から、新しい制度をつくっていききたいという旨が伝えられま

した。体育館での説明がおわると、次は学年・学科別の懇談会。それぞれの会場となる教室へ分かれ、各学科の状況説明や個別面談が行われました。今回も盛況のうちに幕を閉じた「平成6年度父母との連絡会」。大学に対する心配も解消され、ご父母の方々も安心されたようでした。ご父母の皆様、一日ごくろうさまでした。



建築学科1年
友野浄君
のお母様

爽やかな雰囲気がいいですね。

普段、息子がお世話になっている大学がどんなところなのか興味がありましたし、滅多にない機会ですので参加しました。大学生ともなると、親と接触する時間も事柄も少なくなるので、参加することで話題の一つにでもなれば…という気持ちもあったんです。実際、訪れてみて思ったのは、緑が多いキャンパスだなということ。都内でこれだけの環境が整った所ってなかなかないと思います。さすがに爽やかな印象を受けました。



機械工学科2年
田熊政弘君
のご両親

親身になって指導してくれるんですね。

私たちの抱く大学のイメージは、とにかく先生がパーツと板書をして、ついてこれなくてもイイっていう感じだったんです。でも息子に聴いてみると、武蔵工大は先生方が熱心で、質問にも丁寧に答えてくれたり、時間を割いてくれるそう…。今日、学長先生のばっくばらんなお話を伺って、大学の堅いイメージが拭かれた気がします。学内の明るい雰囲気も印象的でした。そうそう、学食でいただいた中華丼。ボリュームがあっただけなかおいしかったですよ。



電子通信工学科3年
久保田衛君
のお父様

個別の話がもっと聞きたかった。

体育館で行われた学長先生や後援会長のお話はとてもわかりやすいものでしたし、学内見学の説明員の方もとても丁寧でした。ただ私としては、その後の個別の話を時間をもっと増やしてもらいたかったですね。一人ひとりに対してきめ細やかな対応は難しいですし、限界があるのかもしれませんが、でも進路について不安なのは子供だけではないですから、相談できる場所と時間をもう少し提供していただければありがたいと思います。

就職氷河期、どしゃぶり状況など、これらの言葉は今年度の就職戦線を如実に物語るものです。そして、現実はその以上に厳しかったと言えるでしょう。

本学への求人状況は、延求人企業数で工学部が16%の減を示すなど、前年度に比べて雇用環境の悪さは予想を越えるものがあったと言えます。

学生に対する選考基準は、厳しいの一言につきると言えます。例えば、筆記試験の重用視、面接の多様化により多方面から学生を考査し、「いかに採用する学生を絞り込んでいくか」ということであると言えます。

こういった厳選採用の中においても、10月中旬現在、大多数の学生が内定を得ており、これは学生が、例年以上の企業研究、企業訪問を行なった結果が、ようやく実を結んだというのが実際のところでしょう。

今後、景気が回復したとしても、企業はバブルの痛手を覚えているだけに、雇用拡大について楽観視できないという意見もあるようです。したがって、工学部学生としても、基礎知識・専門分野の修得は勿論のこと、就職活動に対する積極的な取り組み方が、今後も望まれるところです。

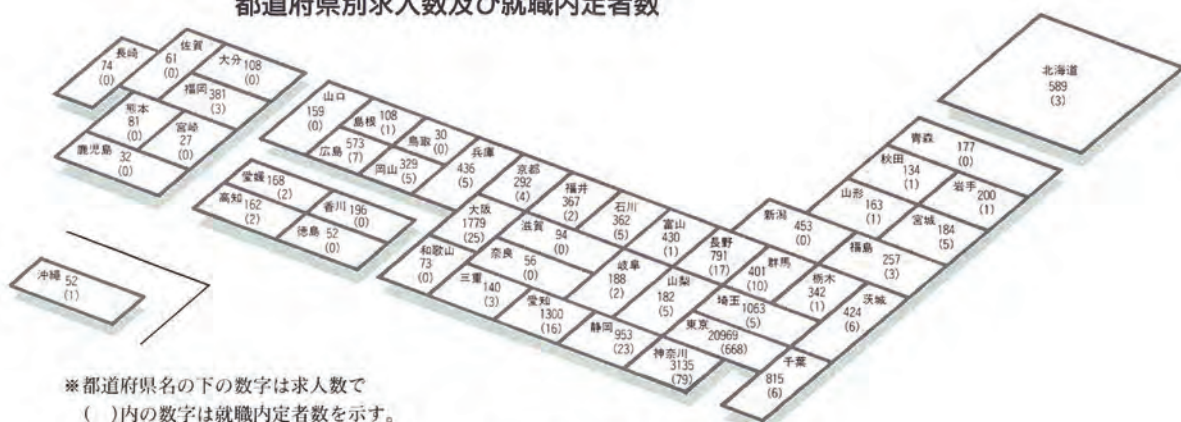
■平成6年度求人就職内定状況

(資料は平成6年10月29日現在大学就職課より)

	項 目 学科・専攻	就 職 希望者	就職者	就職率 (%)	求 人 企業数	1人当り の企業数	求人数	1人当り の求人数	進学希望	その他
工 学 部	機 械 工 学 科	191	170	89.00	2,512	13.1	4,737	24.8	73	3
	電気電子工学科	112	111	99.10	2,658	23.7	5,003	44.6	58	6
	電子通信工学科	105	91	86.66	2,024	19.2	4,055	38.6	37	6
	建 築 学 科	91	82	90.10	2,095	23.0	4,430	48.6	47	3
	土 木 工 学 科	104	102	98.07	2,126	20.4	4,513	43.3	18	1
	経 営 工 学 科	139	126	90.64	1,570	11.2	3,395	24.4	17	5
	小 計	742	682	91.91	12,985	17.5	26,133	35.2	250	24
大学院工学研究科	機 械 工 学 専 攻	38	37	97.36	1,132	29.7	2,115	55.6	1	0
	生産機械工学専攻	28	26	92.85	1,058	37.7	2,021	72.1	0	3
	電 気 工 学 専 攻	95	93	97.89	1,233	12.9	2,270	23.8	6	6
	建 築 学 専 攻	39	35	89.74	881	22.5	1,816	46.5	0	1
	土 木 工 学 専 攻	21	21	100.00	890	42.3	1,817	86.5	0	0
	経 営 工 学 専 攻	17	17	100.00	799	47.0	1,663	97.8	0	0
	原子力工学専攻	8	7	87.50	698	87.2	1,507	188.3	8	2
	小 計	246	236	95.93	6,691	27.1	13,209	53.6	8	12
	合 計	988	918	92.91	19,676	19.9	39,342	39.8	258	36

■平成6年度卒業見込者に対する

都道府県別求人数及び就職内定者数



平成6年度就職内定 先企業／上位44社

順位	企業名	就職人数
1	日本電信電話㈱	10名
2	東急建設㈱	9名
3	東京電力㈱	8名
4	㈱日立製作所	7名
5	㈱東芝	5名
	能美防災㈱	5名
	㈱協和エクシオ	5名
	㈱大塚商会	5名

9	東日本旅客鉄道㈱	4名
	日本電気㈱	4名
	大成建設㈱	4名
	清水建設㈱	4名
	沖電気工業㈱	4名
	前田建設工業㈱	4名
	㈱メイテック東部事業部	4名
	㈱三ツ葉電気製作所	4名
	東芝エンジニアリング㈱	4名
	新菱冷熱工業㈱	4名
	㈱宮川製作所	4名
20	大日本印刷㈱	3名

	キヤノン㈱	3名
	富士重工業㈱	3名
	石川島播磨重工業㈱	3名
	ミネベア㈱	3名
	トステム㈱	3名
	オリンパス光学工業㈱	3名
	富士ゼロックス㈱	3名
	日本モトローラ㈱	3名
	極東開発工業㈱	3名
	東洋建設㈱	3名
	川田工業㈱	3名
	アンリツ㈱	3名

	小糸工業㈱	3名
	㈱トーヨーコ理研	3名
	㈱東電通	3名
	㈱TRK	3名
	コアグループ	3名
	㈱一条工務店	3名
	内野㈱	3名
	東芝エレベータエンジニアリング㈱	3名
	日本設計㈱	3名
	テクナ電子工業㈱	3名
	田中貴金属工業㈱	3名
	東京都庁	3名

進路は早めに決める!!

ここ数年の就職状況は、工学部にあってもなかなか厳しい現状にあります。

大手企業の採用見送りという状況の中にあって、大学院への進学もこの余波を受けて予断を許さない状況となっています。

“備えあれば憂いなし”のとおり子弟の卒業後のことについて本人とご家族で良く話し合いを行い、“就職か進学か?”という問題に直面した際に即断できるように心掛けておいてください。

就職・進学活動スケジュール

進路先 学年	公務員等	民間企業	本学大学院 進 学	他大学大学院 (海外留学)
2年生 (就職か進学かを考える)	12 月 ●公務員受験講座など 2～3月 ●公務員受験模擬試験など	自己の適性に基づいて家庭で協議		
3年生 (進路についてより具体的に考える)	4～6月 ●公務員受験模擬試験など 12 月 ●公務員受験講座 2～3月 ●公務員受験模擬試験	4～5月 ●就職適性検査 ●一般常識模擬テスト 11 月 〃 〃 11～12月 ●就職ガイダンス(資料請求カード、リターン資料等の配布) 2～3月 ●資料による企業研究	5 月 ●進学予定者対象の進学説明会 ●図書館などで大学院の各専攻内容や入試問題等を検討	●他大学または留学先より資料を取り寄せ情報収集活動
4年生 (就職進学活動の本番です)	4～6月 ●公務員受験模擬試験 ●試験開始	4～5月 ●就職ガイダンス(学科別各種就職講習会など) ●就職適性検査 ●一般常識模擬テスト 4～6月 ●学内での希望調査および推薦者決定 7 月 ●推薦書発行 10月上旬 ●結果通知 ●学内での採用内定報告手続	5月下旬 ●進学予定者対象の進学説明会 6 月 ●指導教授との面接 7 月 ●推薦入学候補者の決定 8 月 ●学生募集要項入手・願書提出 9 月 ●第1次入学試験 3 月 ●第2次入学試験	4～5月 ●指導教授と相談の上、進学先の検討 9 月 ●入学試験(大学の要項)

大阪工業大学との交流戦を控えるバスケットボール部と、第30回定期演奏会を目前にした吹奏楽団。今回はこの両団体を取材して、1年の節目となるイベントにかけける部員たちの熱い意気込みをレポートします。

バスケットボール部

部員一丸で戦った大阪工大との定期戦



▲白熱戦。ここぞ一発キマリの北壁尚武君(機3)

バスケットボール部
顧問：小玉克巳 教授
主将：橋山 滋 (機械工学科3年)
部員数：38名 (内女子2名)

3年生最後の試合に向かって猛練習を重ねる

取材に訪れたとき、バスケットボール部はちょうど練習の真っ最中でした。弾むボールの音やバスケットシューズが床を蹴る音、また気合いの入ったかけ声などが反響しあった体育館の中は、部員たちの熱気ではちきれんばかり。目前に迫った大阪工業大学との第36回定期戦にかけける意気込みが、この熱気を作っているのでしょう。

「3年生にとって大阪工大との試合が現役最後の試合、だから悔いを残さないようにってことで、気合いが入ってしまうんです」と語ってくれたのは主将の橋山滋君(機械工学科3年)。インタビューの合間にも厳しい表情で部員たちの動きを追っています。



▲中・高・大学と主将を務めてきた橋山滋君。お疲れサマ!

「この間行われた関東学生リーグ戦では、3勝4敗と負け越してしまい、6部残留となってしまったんです。とはいえ、春の理工系リーグでは1部で優勝もしましたし、うちは5部リーグでも十分通用する実力を持つてると思うんです。個人個人のテクニックも申し分ないところまで来てるし…。ただ、パスミスなどのちょっとしたミスが多いんですね。関東学生リーグで落とした試合もそ

れが原因。プレーヤー同士声を出しあって、最後の試合には華を飾りたいのですが」(橋山君)

3年生の各部員たちは、持ち前のファイトで今まで勉強と部活動を両立させてきました。それもこれも「とにかくバスケットが好き」という気持ちがあったからこそ。そんな自分たちが情熱をかけたスポーツに一区切りつけるために、また残りの大学生活で学業や就職活動に専念するためにも、悔いの残らない試合をしたいと願うのは当然でしょう。

もちろん、3年生たちの最後の試合にかけける熱意は、コートの外で球拾いをしている下級生たちにもしっかりと伝わっていました。

「歯車が噛みあえば、うちは本当に強いチームだと思います。だからベンチの外にいる僕たちも常に声を出して、チーム内のリズム作りに協力しないと……」(津島健男君・機械工学科1年)「何といっても3年生の現役最後の試合ですからね。先輩たちの勇姿をしっかりと目に焼き付けたいですね」(佐田慶一郎君・土木工学科1年)



▲ひと味ちがう? 津島健男君



▲寝起きは悪いが、良い男? 佐田慶一郎君



◀ 中村憲史君(建2)の見事なシュート

まさに、チーム一丸という言葉がぴったりと当てはまっていた武蔵工大バスケットボール部。果たしてこの意気込みが試合にどのような結果をもたらすのでしょうか。

主将を欠きながらも善戦した武蔵工大

大阪工大との定期戦は、11月22日と23日の2日に渡って計3試合が行われました。

取材に訪れたのは第2戦とOB戦が行われた23日。初日の一戦目に64対68という非常に僅差で敗れてしまった後だけに、各部員の間にはピリピリとした緊張感が漂っています。またチームの要である主将の檜山君が前日の試合で負傷し、今日の試合に出場できないことも、武蔵工大バスケットボール部にとって、大きなプレッシャーとなっているようです。そんな雰囲気を感じてか、試合前のミーティングを念入りに行った檜山君。

「声を出しあって、悔いの残らない試合をしようぜ!」。主将の最後の檄に、部員たちの士気は徐々に高まっていきました。

前半は大阪工大のリズムで試合が展開しました。大阪工大は武蔵工大と同じような速攻主体のチーム。指令塔の檜山君を欠いているだけに、大阪工大のスピーディなゲーム展開になかなかついていけないようです。

しばらくベンチから声を送っていた檜山君ですが、たまたまタイムアウト。「絶対に勝てる相手なんだから」「もっと落ち着いたプレーを心がけて」と数々のアドバイスを与えます。

それが功を奏したのか、武蔵工大バスケットボ

ール部は徐々に点差を縮めていきます。とくに後半戦に入ってから、武蔵工大お家芸の速攻プレーが次々に決まりました。中でも次期主将、金野武司君(電気電子工学科2年)のプレーには目覚ましいものがあり、周囲の者がはっと息を飲むようなロングシュートが何本も入りました。



▲文武両道!をうご期待の金野武司君

結果は63対73と、2回戦も武蔵工大は敗れてしまいましたが、内容的にはなかなかの好試合と言えるでしょう。主将を欠いたという戦力的なデメリットを、チームワークの良さで十分補っていました。なお、その後に行われたOB戦では武蔵工大OBが大阪工大を圧勝。現役生たちの雪辱を果たしてくれました。

試合後、引退する3年生たちに後輩へのメッセージをお願いしてみました。

「みんないい資質を持っているから、武蔵工大バスケットボール部はまだまだ伸びると思います。うまくならうとする気持ち、それを忘れないで頑張してほしい。期待しています」

(羽鳥達也君・建築学科3



▲漫画大好き羽鳥達也君

年)「僕たちから見るとちょっとおとなし過ぎる感じがします。もっと個性を出してもいいんじゃないかな。そうしたほうが、きっと面白いチームになるはず。あと、技術的にはすでにかなりのレベルに到達してる人もいるけど、けっしておごらずに、謙虚な姿勢でバスケットボールを学んでほしい」(檜山君)

こうした先輩のエールに対して次期主将の金野君は次のように応えてくれました。

「うちのチームは個人の力で引っ張っていくチームじゃないと思うんです。大切なのはチームワーク。メンバー全員でどれだけの力を出せるか、それにかかっているんです。目標としてはやっぱり、関東学生リーグでの5部昇格でしょうか。決してかなえられない目標じゃないと思うので、部員一丸となって全力で頑張ります」

なかなか力強い言葉です。この言葉どおり、来年こそはきっと、5部リーグ昇格のニュースを先輩たちに報告することができるといえるでしょう。



▲応援に熱が入る、ベンチ陣

プレッシャーに負けずに臨んだ、第30回定期演奏会



吹奏楽団
顧問：吉田祐夫 教授
団長：永山裕之（経営工学科3年）
部員数：48名（内女子6名）

個人の演奏技術の向上が武蔵工大を盛り上げていく

武蔵工業大学のオフィシャルな楽団として、学内の行事には欠かせない存在である吹奏楽団。学生団体連合会の中では、放送会、新聞会と並ぶ「特殊部会」に所属し、文化団体連合会や体育会に所属する他のクラブと区別されています。

「入学式や学位授与式（卒業式）での演奏や、学生主催行事の応援演奏などは、うちの活動の大きな柱。他のクラブと違って、大学の公共奉仕活動的なこともするんですね。だから個人の演奏技術の向上は、その人の財産となることはもちろん、大学全体のためにもなる。そのあたりを誇りに感じてる部員も多いと思います」と力強く語ってくれたのは、団長の永山裕之君（経営工学科3年）。自分たちの演奏が武蔵工大全体を盛り上げているんだ、といった自負がうかがえる言葉です。



▲しっかり者の永山裕之君。
ホントかな？

もちろん吹奏楽団は、大学への公共奉仕活動だけでなく、コンサートや演奏会など、音楽サークルとしての活動も活発に行っています。取材に訪れたときも、目前に迫った『定期演奏会』に向けて、団員一同熱のこもった練習をしていました。「いちばん大きな発表会ですから、どうしたって気合いが入りますね。これを区切りとして、幹部も入れ替わるし……。団全体の年間スケジュールも、この定期演奏会に合わせて決まってるんですよ」（伊藤亜希子さん・建築学科3年）

定期演奏会は今回で30回目。そして今年は団創立



▲天性のラテンリズム。伊藤亜希子さん

35周年の年でもあります。武蔵工大吹奏楽団にとって今回の定期演奏会は、例年以上に特別なものなのでしょう。しかし、頼もしいことに団員の皆さんは、それをプレッシャーとしてではなく、むしろ、やりがいと感じている様子です。

「たしかに緊張はしますが、定期演奏会は今まで1年やってきたことの総決算だから……。音楽をするものにとって、培ってきた技術を大勢の観客の前で披露するのは、なかなか嬉しいものなんです。それに、『スタック・サウンズ・オーケストラ』と一緒にやろうのも、この演奏会しかありませんし」（妹尾和宏君・電子通信工学科3年）



▲吹奏楽団随一のオシャレ風。
妹尾和宏君

スタック・サウンズ・オーケストラ（以下、スタック）とは、吹奏楽団内にあるジャズバンドのこと。ジャズを愛する20名弱の団員たちで構成されています。練習日は月曜日と木曜日。吹奏楽団の練習がお休みの日に行なっています。

「吹奏楽団全体の練習は火曜日と金曜日。だからスタックに所属している団員は、週のうち4日も演奏の練習をしていることになります。ハードな毎日ですが、好きでやってることなので……。それに吹奏楽団での担当とは違う楽器を演奏する人も多く、けっこう気分転換にもなってるんですよ」と語るのはスタックのリーダー、水野卓君（土木工学科3年）。とはいえ、スタックに所属する人たちは、定期演奏会に2つのバンドのメンバーとして出演することになり、その練習量は並大抵ではないでしょう。



▲人気集中ノ水野卓君

「みんなで1つのものを作り上げていく素晴らしさ。カッコよく言えば、それがあるからハードな練習にも耐えられるんでしょう。もちろん、先輩たちの、時に暖かく、時に厳しい指導にも、非常に勇気づけられています(笑)」(大島正史君・経営工学科2年)



▲真剣に演じる左から宇多明博君(通2)、大島正史君(経2)、新田偉子さん(建2)

「学業が疎かになる、なんてことはありません。むしろその逆。時間が限られてしまうから、かえって集中して打ち込める。何にも課外活動をしていない人より、時間配分はうまくいってると思いますよ」(日尾野秀樹君・経営工学科3年)

さて定期演奏会では、団員たちのこの努力がどう実を結ぶのでしょうか?



▲みんなの潤滑油的存在の日尾野秀樹君

感動のうちに幕を閉じた定期演奏会

10月9日(日)午後3時、第30回吹奏楽団定期演奏会は、川崎市教育文化会館において開演しました。団員一丸となって日夜練習を重ねた成果を、いよいよ発表するときがきたのです。会場は一般の客にまじって歴代のOB、父兄、交流のある他校の吹奏楽団員たちでいっぱいです。



▲クラブ活動の域を脱した、見事な演奏

最初の曲は飯山繁君(電気電子工学科3年)の指揮による「Tribute」です。華やかでありながら叙情的な趣もあるこの曲からは、吹奏楽の妙味を十二分に堪能でき、改めて団員の演奏レベルの高さがうかがえました。次は、フランスの地方民謡で構成されたミヨー作曲の「フランス組曲」。指揮は早川祥君(電子通信工学科3年)です。流れる



▲軽快なリズムを奏でる、スタックのメンバー

ように指揮棒を操る彼の額には、大粒の汗が光っています。これに応えるかのように、団員たちは一糸乱れぬ演奏を行ない、会場に別世界を創りだしていました。

第2部ではスタック・サウンズ・オーケストラの演奏でスタート。迫力満点のジャズ演奏に、会場の雰囲気はガラリと変わりました。そして続いて登場したのは、10年前に結成されたOBバンド。さすが豊富なキャリアを持っているだけに、余裕たっぷりの演奏です。凝ったライティングの効果もあって、このとき場内の興奮は最高潮に達しました。

第3部は、趣向を凝らした構成です。「トッカータとフーガ」、「魔法使いの弟子」などの6曲をバックに、それぞれのテーマに合った衣装で、踊りやパントマイムによる寸劇を披露。場内を大いに沸かせてくれました。



▲只今、舞踊に熱中 / 左から里見恒成君(機1)、善林拓也君(通1)、石井岳君(機1)

幻想の世界が醒め、場内が静かになったところで団長の永山君からの感謝をこめたあいさつと、今年度卒業する4年生の紹介がありました。その後、客席からの花束贈呈があり、いよいよ第30回定期演奏会の最後を飾る現役・OB合同演奏です。

指揮棒を振るのは、常任指導者の奥野儀光氏(81東京音楽大学卒。現在はロイヤルブラスクインテッドおよび東京吹奏楽団のメンバー)。曲目はオーケストラからのアレンジ曲で、グロフェ作曲「ミシシッピー組曲より」とガーシュイン作曲「パリのアメリカ人」です。約50名からなるビッグバンドの熱演に、大満足の観客たち。そして何よりも、壇上で演奏する団員たちの表情が、とても生き生きと輝いて見えました。

すべてのプログラムが終了した後、場内は割れんばかりの喝采。団員たちは、すべてが完結した喜びに顔をほころばせていました。アンコールの拍手に応える彼らの胸中は、今までの努力が実った充足感でいっぱいだったことでしょう。

絵で見るキャンパススポット

毎年本学で行われる関東地区対象の「父母との連絡会」では、キャンパス内の施設見学を行っています。今回から始まる“絵で見るキャンパススポット”シリーズでは、今まで見学できなかった場所や施設、またはいろいろな建物の詳しい情報を紹介していきます。

シリーズのはじめは9号館。学生食堂がメインとなる9号館は、課外活動や学生生活をバックアップする施設を備え、いつも学生のにぎやかな声が絶えません。

■**正面ピロティ**：このコーナーは学生食堂の食券自動販売機他、各種飲料水等の自動販売機が14台も設置され選り放題。それに全て10円引のうれしい価格。



■**学生食堂**：営業時間は、朝の8時30分から夕方6時まで。メニューは、280円のサービスランチの他、日替りのお好み定食がよくです。中でも“鶏肉のトマト煮”“イタリアンハンバーグ”“豚肉の南蛮漬”などが人気。その他、和洋中と豊富なメニューが用意されています。これらは、専門の栄養士さんが、学生の食欲と栄養のバランスを考えて提供するものです。厨房ではコック長をはじめ44名の従業員が働いており、特に昼食時の厨房内は戦場のような様子です。



■**軽食堂**：ここで提供されるものは、カレー、そば、うどん、ラーメン類。週替わりでいろいろなメニューが提供されます。例えば、キムチラーメン、チキンカツカレー等で、価格も290円から370円位までが多く、スポーツや講義の前後に軽く腹ごしらえする学生も多く、人気のコーナーの一つです。

■**喫茶室**：コーヒーや清涼飲料水などの他に、日替わりスパゲティーやグラタン、ドリア等の洋食があり、学生間の話合いの場にもなっています。また、今年から喫茶室内に“ミニコンビニ”が登場。自家製のパンが人気を集めています。



■**談話室**：ゆったりとしたソファがおかれたこのスペースは、食事の後のくつろぎの場、宿題を済ませる勉強部屋、寝不足解消の仮眠室とその利用はさまざま、学内のオアシス的な存在です。また、後援会寄贈のカラオケもあり、研究室やクラブのコンパなどに貸し切られることもあります。



■**文具ストア**：各学科で必要となる文具はもちろん、研究室で帰りが遅くなり、宿泊することになった学生のための歯磨きセットやシャンプー、石鹸、剃刀、カップラーメン、コーヒー、クリープ等の他、4年生の必需品、つなぎやサンダルも揃っています。

■**ブックストア**：工業系の専門書が半分くらい、後は一般図書や旅行のガイドブック、雑誌…。スポーツ雑誌は充実していて、ラグビー、サッカー、アメ

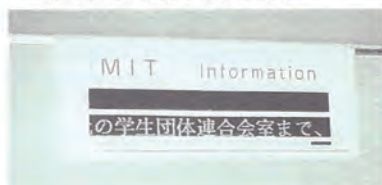
フト等様々。また、全ての書籍は1割引になっています。



■**集会所(和室)**：学内唯一の和室は、少数教育が特徴のゼミナール形式の授業や、篠笛同好会の稽古に使われたり、研究室やクラブのミーティングからコンパまで使い道は多様。

■**上部学生団体の部室**：文化系、体育系をまとめる各本部、学内の伝達事項や大学の行事などに携わることの多い放送会・新聞会・吹奏楽団の特殊部会、さらにそれら全てを統括する学生団体連合会の会室が9号館に集中し、18号館にある一般のクラブの部室とは分けられています。

■**電光掲示板**：後援会寄贈の電光掲示板は、1階学生食堂と2階軽食堂に設置されています。運営、管理は学生団体連合会で行い、学内外から寄せられた情報が常に流されています。例えば、…ダンスパーティーのお知らせ、チケットは学生団体連合会にて販売中…/…学生課からのお知らせ、クラブの責任者は援助金を支給するので〇月〇日に321教室に必ず集まること…など学生生活に大いに役立っています。



■**リサイクルボード・伝言板**：後援会から寄贈されたこのボードは学生団体連合会の管理下におかれ、一般学生が自由に利用できるようになっています。例えば…「パラグライダーの機体売ります、買ってくれーい!!」・「車売ります、車検12月まで、8万円」などから、各種ポスター、たすね人までさまざまな情報が満載されています。

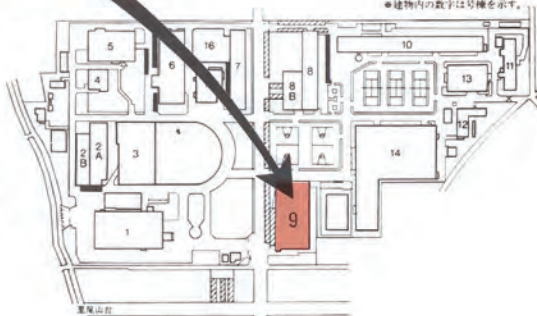




図書館全景



●建物内の数字は号棟を示す。



1F

- ①食券売場
- ②ビロティー
- ③食堂
- ④電光掲示板
- ⑤学生ホール
- ⑥厨房

2F

- ⑦放送会部室
- ⑧文具ストア
- ⑨厨房
- ⑩軽食堂
- ⑪談話室
- ⑫学生団体連合会部室
- ⑬新聞会部室

3F

- ⑭文化団体連合会部室
- ⑮吹奏楽部部室
- ⑯体育会部室
- ⑰MIT祭実行委員会部室
- ⑱電光掲示板
- 3F
- ⑲ブックストア
- ⑳集会室(和室)

3F

屋上(立入禁止)

★部室



★談話室



★ブックストア



★文具ストア

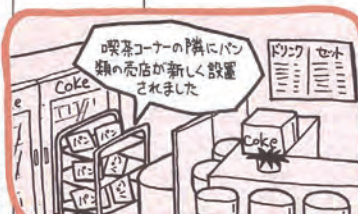


★食堂(軽食)



2F

★喫茶コーナー販売店



★伝言板コーナー



★食券売場



★食堂(定食)





キャンパストピックス

CAMPUS TOPICS

学生団体への夏期合宿視察行われる



この夏学生部関係の教職員を中心に、学生の合宿視察を行いました。東京からの距離や日程を踏まえて、効率良く数多くの団体をまわるようにした結果、学生課に届出のあった61団体のうち、21団体の合宿を見学することができました。炎天下でのグラウンド・テニスコートでの練習あり、サウナ状態での体育館・道場での練習ありと今年の合宿は学生にとっても視察にまわる教職員にとっても例年以上に大変だったことと思います。

訪問先では練習を見学したり、宿泊先の方にお話を伺ったり、学生と食事をともにしたりと様々な交流と激励が行われました。また、今回の訪問では、訪問した各学生団体と日頃から学生団体に対して指導をいただいている学外指導者に対して、後援会より援助金を交付したことをご報告いたします。

ワールドカップ出場、次は目指せアトランタ！ーカヌーでJOC強化指定選手にー

平成5年度より導入された自己推薦入試により、本学にも多彩なキャラクターの学生が入学するようになりましたが、なかでも今一番注目を集めているのが、カヌーの選手として活躍している経営工学科1年の星 栄介君。今年度の彼の戦績をざっと上げると、NHK杯全日本カヌースラローム競技大会第3位、アジアで初めて開催されたワールドカップ'94に出場他、関東カヌースラローム・ワイルドウォーター選手権大会、新潟県カヌー協会主催コシヒカリ杯および滋賀県カヌー協会主催瀬田川大会でそれぞれ優勝など実にスケールの大きい活躍振りです。この星君の活躍は、(財)日本オリンピック組織委員会もが認めるところで、この度平成6年度オリンピック強化指定選手として正式に認定されました。2年後のアトランタオリンピックでは本学初のオリンピック選手誕生なるか…。輝け、期待の星君!!



後援会の理事会が開催される。

今年度2回目の理事会が去る11月5日(土)14時45分より大学の五島記念館メモリアル・ホールBにおいて開催された。

当日は役員、理事17名(委任出席3名)が出席し、平成6年度上半期の活動状況の説明、夏期休業中に全国26ヶ所で開催された父母との連絡会の

実施結果の報告、および平成7年度の後援会の主要日程等が検討され、提案された議案、報告が原案のとおり了承された。

また、理事会の最後に飯田会長より学生のボランティア活動を普及し、活動を広めたい旨の話があり、今後その進め方について検討することとした。

ソーラーカーだけじゃない！ソーラーバイシクルも走るソー



ソーラーカーといえば今や研究開発で競うばかりではなく、国内外を問わず多くのレースが行われており、本学でも機械工学科の材料力学研究室（吉野利男教授）が毎年自作のソーラーカーで数々の大会に参加してきました。なかでも秋田県大潟村で行われる「ワールドソーラーカーラリーinアキタ'94」は国内最大規模を誇り、テレビや新聞でも

大きく取り上げられました。一方、同会場では世界発の公認ソーラー自転車レース「ワールドソーラーバイシクル」も開催され、本学からは材料力学研究室のOB（現機械工学専攻修士課程1年の板垣定範君、内山達君、近藤幸成君）3人組が参加しました。太陽光発電と人間の脚力をミックスしたソーラーバイシクルは、ソーラー発電が弱ければドライバーは自分の脚力でカバーしなければならず、30度を超える炎天下での100kmマラソンは予想以上にハード。「楽しむためだけに、簡単に出来そうだったから」と始めたものの、製作時間が限られ、材料費がほとんど自費という悪条件で完成度は今一つ…とは本人達の弁。が、しかし結果は何と100kmマラソンと最高速度コンテストの2種目中2種目で大学生部門優勝!!

1mにもおよぶトロフィーをお土産に笑顔の報告がありました。

今夏1年生2名がオートバイ事故で死亡。

去る7月27日昼、前期末試験終了後の帰宅途中に電気電子工学科の1年生が乗用車と衝突して死亡し、また、8月27日には機械工学科の1年生が自宅近くで車と接触して転倒し死亡しました。

この2件のオートバイによる死亡事故は入学まもない新生が犠牲となり大変痛ましい結果とな

りました。

学生がオートバイ通学する理由は種々考えられますが、二度と同様の悲劇をくり返さないためにもオートバイ通学は自粛するようご家庭からもご指導をお願いいたします。

以下は学生への告示文を再掲いたします。

急 告

今年は例年にない暑い夏となりましたが、この最中オートバイによる事故で2名の学生が死亡しました。

いずれも今年春入学した新入生でこれからの大学生活に希望を持ってスタートした矢先の惨事です。

本学では従来からオートバイによる通学に対しては通学途中の安全をはかるため自粛するよう学生諸君の協力を求めています。このような事態となり真に遺憾に耐えられません。

本学の調べでは昭和42年以降現在まで28年間、在学生の死亡事例は57件あり、その死亡原因は下表のとおりです。

過去28年間（昭和42年より）の在学生の死亡原因（人）

	事故(車による)	病 気	自 殺	不 明	合 計
1年生	13 (6)	5	0	0	18
2年生	6 (2)	5	1	2	14
3年生	4 (4)	3	0	0	7
4年生	4 (2)	8	4	1	17
大学院	1 (1)	0	0	0	1
合 計	28 (16)	21	5	3	57

事故による死亡のうちその半数がオートバイ事故によるものであり、特に入学まもない1年生が多くなっています。この状況から推測すると届出のない事故件数は相当数に上がるものと思われます。

学生諸君がオートバイを利用して通学することは、その経済性、時間短縮、趣味等によるものと思われますが、事故は運転経験、時間、場所等に無関係に誰にでも起る可能性があります。

志を立てて入学し、勉学の中で車禍により貴い生命が失われることは本人にとっては誠に無念であることは勿論、両親や家族にとっても耐え難いことであります。

今回の2名の学友の惨事を教訓として、再びこのような悲劇をくり返さないためにもできるだけオートバイによる通学は自粛して下さい。

やむを得ずオートバイを利用する学生は安全走行を心掛けるとともにマナーを遵守し、事故に遭遇しないよう十分心掛けて下さい。

今般逝去した2名の学友の冥福を祈るとともに在学生諸君の良識ある行動を期待します。

平成6年9月20日

学生部長
星 野 重 夫

平成6年度「大学と父母との連絡会」について

平成6年度の「大学と父母との連絡会」は、7月17日(日)の沖縄県那覇市を皮切りに、9月25日(日)の東京地区までの間、全国26会場において開催されました。各会場の出席状況は下記のとおりで、各地において評議員の方々には会の運営等にご協力いただきました。

■平成6年度「大学と父母との連絡会」の出席状況

開催地	開催日	会場名	対象県	対象者数	出席者数	出席率	平成5年度
函館	9月9日(金)	函館ハーバービューホテル	北海道	66名	20名	30.3%	32.1%
札幌	9月10日(土)	札幌ステーションホテル					
秋田	9月4日(日)	アキタスカイホテル	青森	11	1	9.1	18.2
			岩手	19	5	26.3	18.8
			秋田	29	17	58.6	20.7
仙台	9月3日(土)	仙台ガーデンパレス	宮城	36	13	36.1	31.3
			山形	19	6	31.6	31.6
郡山	9月3日(土)	チサンホテル郡山	福島	46	15	32.6	39.5
宇都宮	9月4日(日)	関東チサンホテル宇都宮	栃木	69	19	27.5	23.4
水戸	9月5日(月)	三の丸ホテル	茨城	108	35	32.4	26.3
松本	9月3日(土)	松本東急イン	長野	123	30	24.4	22.0
甲府	9月4日(日)	古名屋ホテル	山梨	65	18	27.7	27.9
			石川	48	15	31.3	30.6
金沢	9月3日(土)	金沢東急ホテル	福井	12	1	8.3	20.0
富山	9月4日(日)	富山エクセルホテル東急	富山	35	9	25.7	28.6
東京	9月25日(日)	武蔵工業大学	東京	994	147	14.8	12.6
			神奈川	1,437	230	16.0	15.4
			千葉	283	32	11.3	8.3
			埼玉	303	41	13.5	11.8
高崎	9月3日(土)	高崎ターミナルホテル	群馬	58	13	22.4	25.0
新潟	9月4日(日)	ホテルイタリア軒	新潟	45	17	37.7	40.9
静岡	9月3日(土)	サンパレスホテル	静岡	243	92	37.9	33.0
浜松	9月4日(日)	浜松サゴイン					
名古屋	8月27日(土)	名古屋東急ホテル	岐阜	27	5	18.5	7.7
			愛知	74	23	31.1	33.3
			三重	26	4	15.4	16.7
大阪	8月28日(日)	東洋ホテル	滋賀	4	1	25.0	0
			京都	10	0	0	9.1
			大阪	12	2	16.7	8.3
			兵庫	15	2	13.3	20.0
			奈良	8	2	25.0	14.3
			和歌山	9	0	0	8.3
岡山	8月25日(木)	岡山東急ホテル	鳥取	6	0	0	37.5
			岡山	25	4	16.0	39.3
広島	8月26日(金)	三井ガーデンホテル	広島	60	17	28.3	38.6
小郡	8月27日(土)	山ログランドホテル	島根	14	1	7.1	15.4
			山口	23	8	34.8	42.9
高知	8月28日(日)	ホテルサンルート高知	徳島	13	1	7.7	16.7
			高知	20	12	60.0	47.4
松山	8月27日(土)	ホテルサンルート松山	香川	19	4	21.1	20.0
			愛媛	23	3	13.0	40.9
福岡	8月27日(土)	ホテルステーションプラザ	福岡	58	11	19.0	23.5
			佐賀	6	1	16.7	20.0
			長崎	12	3	25.0	21.4
			熊本	9	2	22.2	12.5
別府	8月28日(日)	日伯ホテル	大分	27	13	48.1	24.0
			宮崎	25	6	24.0	61.1
			鹿児島	16	4	25.0	18.8
那覇	7月17日(日)	那覇東急ホテル	沖縄	17	13	76.5	78.6
			合計	4,607	918	19.9	18.8